



図書館だより

2020/07/28 発行 大阪府立寝屋川高校図書館



☆夏休みの開館予定

下記の通り、夏休みの開館を行います。

8月の開館予定表は図書館入り口にも掲示します。

予定変更があれば入り口に掲示しますので、そちらで確認をしてください。



月	日	曜	時 間
8	3	月	9:00~16:00
	4	火	
	5	水	
	6	木	
	7	金	

* 8月8日(土)~8月16日(日)は休館です。

8月17日(月)から 通常通り開館します。

☆「夏休みのための長期特別貸出」実施中！

7月11日(土)より夏休みのための長期特別貸出を行っています。

読みたい本や前から気になっていた本は **お早めに** お求めください。

貸出冊数 読みたいだけ
返却期限 8月17日(月)



延滞図書の連絡票をもらった人はすみやかに本を返却してください。

今、借りている本で夏休みも借りたいと思うものがあれば、再度貸出手続きをしてください。

予約がなければ、続けて借りることができます。

夏休み前に返却期限を過ぎてしまうものも必ず手続きに来てください。

☆Web上で図書館の蔵書検索ができるようになります

これまで図書館の資料は、図書館にある「検索専用コンピュータ」でしか検索することができませんでしたが、スマホやタブレット、おうちのコンピュータなど、Web上で検索できるようになります。くわしい内容は各学年のクラッシーやGoogle クラスルームでお知らせします。貸出中かどうかの情報は掲載されませんので、確認や予約はメールで問い合わせてください。よろしくお願いします。

本の予約(問い合わせ)



osaka-ced.jp

こちらからできます

☆読書感想文コンクールの課題図書あります

キャパとゲルダ：ふたりの戦場カメラマン マーク・アロンソン、マリナ・ブドーズⅡ 著
激動の1930年代、スペイン内戦を世界に伝えた二人のカメラマン、ロバート・キャパとゲルダ・タロー。カメラを武器に革命に身を投じた、若き二人の青春の物語。

廉太郎ノオト 谷津矢車Ⅱ 著

瀧廉太郎の頭のなかには、いつも鳴り響いている音があった。東京音楽学校で才能を開花させ、新しい時代の音楽を夢みるが…。明治日本で短い命を燃やした一人の天才の軌跡を描き出す。

フラミンゴボーイ マイケル・モーパールⅡ 著

始まりは、一枚の絵。その絵に導かれて歴史に埋もれた遠い過去へと長い旅に出る。フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年と少女の切ないけれど優しい物語。

* 図書館にも原稿用紙あります。コンクールに応募してみませんか？

どんな本あるかな？ 特集コーナー

<学芸委員のおすすめ本>

学芸委員(カウンター係)のみなさんの「おすすめ本」を紹介カードと一緒に展示しています。

おもしろい本をお探しの方、読む本に悩んでいる方、そうでない方もぜひどうぞ！！

☆新着図書の案内

** ほかにもあります。図書館で見てね。 **

水を縫う 寺地はるなⅡ 著 「男なのに」刺繍が好きな弟の清澄。「女なのに」かわいいものが苦手な姉の水青。「愛情豊かな母親」になれなかったさつ子…。普通の人なんていない。普通の家族なんてない。世の中の“普通”を踏み越えていく家族の物語。

クスノキの番人 東野圭吾Ⅱ 著

その木に祈れば、願いが叶うと言われているクスノキ。その番人を任された青年と、クスノキのもとへ祈念に訪れる人々の織りなす物語。

龍の耳を君に：テフ・ヴォイス 丸山正樹Ⅱ 著

手話通訳士の荒井尚人は、コミュニティ通訳のほか、法廷や警察で事件の被疑者となったろう者の通訳をする生活の中、場面緘黙症の少年に手話を教えることになった。めきめきと上達した少年はある日、殺人事件について手話で話し始める。果たして少年の手話での証言は認められるのか？

アーモンド ソンウオンピョンⅡ 著 扁桃腺が人より小さく、怒りや恐怖を感じることができない十六歳の高校生、ユンジエ。そんな彼は、十五歳の誕生日に、目の前で祖母と母が通り魔に襲われたときも、ただ黙ってその光景を見つめているだけだった。そんなとき現れたのが、もう一人の“怪物”、ゴニ。激しい感情を持つその少年との出会いは、ユンジエの人生を大きく変えていく。

一九八四年 新訳版 ジョージ・オーウェルⅡ 著

“ピク・ブラザー”率いる党が支配する全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改竄が仕事だった。彼は、完璧な屈従を強いる体制に以前より不満を抱いていた。ある時、奔放な美女ジュリアと恋に落ちたことを契機に、彼は伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが…。

アンクル・トムの小屋 新装版 ハリエット・ビーチャー・ストウⅡ 著

19世紀半ばにアメリカで出版され、大衆のレベルで南北戦争を引き起こしたと言われる『アンクル・トムの小屋』の全編を翻訳。思想・文化の面から解説・資料を加える。

読書はあとから効いてくる!!~たくさん本を読もう~